

障害者福祉施設整備事業補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	S 2 2 年度 経過年数 69 年	事業終了 予定年度	H30 年度
		政策 [日本一の安全・安心]			<input type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					
関連する県の計画等		[福井県障害者福祉計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
障害者が身近な地域で安定した日常生活を送ることができる環境を確保します。												
[事業内容]												
<p>民間障害者施設の整備に助成し、障害者が身近な地域で安定した日常生活を送ることができる環境を確保する。 (補助対象) 若越みどりの村の改築 (補助率) 3/4 (国1/2 県1/4)</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		184,690	141,776	115,952	157,200	531,470	531,470	531,470	・28年度は入所施設の整備を予定しているため予算額増 ・29年度以降、法人等の希望に応じて予算額増減			
2月現計予算額の推移		143,516	141,776	120,824	66,956							
決算額の推移		143,516	137,749	120,824								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	障害者支援施設利用者	(目標)			(1,652)	(1,636)	(1,620)		支援施設入所者の地域生活への移行を図る [障害福祉計画：29年度末入所者数を25年度末入所者から4%以上削減]			
		実績	1,693	1,695	1,668							
活動指標	障害者支援施設の定員	(目標)			(1,733)	(1,733)	(1,733)	(1,733)	指定障害者支援施設(27施設)定員(施設入所支援) [支援施設入所者の地域生活への移行を図るため、定員は増やさない]			
		実績	1,763	1,733	1,733							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	社会福祉法人等					
予算額	531,470	354,313			177,157	事業実施方法	補助					
						補助率	国1/2、県1/4					

事業評価

事業名	障害者福祉施設整備事業補助金	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
障害福祉サービス等施設（特に障害者支援施設）については、老朽化問題や居室面積等が現在の国の基準を満たさない施設もあるため、障害者が安定した生活を送ることができる環境整備が必要。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
障害福祉サービス利用者				約8,000人			
他県の状況	47都道府県で整備 (平成27年度整備施設数：182施設)			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 障害者グループホーム支援事業 (役割分担) 障害福祉サービスの各施設のうち、GHを除き分担			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
就労継続支援事業所1件 (国の補助額が協議額に対し大幅に減額)		整備が必要な施設を長期的に計画を立て補助を実施		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新 障害者差別解消法施行推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H30 年度	
関連する県の計画等			[]								
[事業目的]											
<p>平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行されることに伴い、専門の協議会の開催やバリアフリー化の推進など、地方公共団体に義務付けられた役割を果たし、障害者に対する差別の解消に関する県民の意識向上および障害者福祉の増進を図ります。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 障害者差別解消支援地域協議会運営事業 ・ 障害者から相談を受けるそれぞれの機関による相談事例等に係る情報の共有や類似事案の発生防止についての協議</p> <p>(2) 県民への周知・啓発 ・ 一般県民や事業者等へ、リーフレットやポスター、「県からのお知らせ」等の県の広報媒体を利用した周知・啓発</p> <p>(3) 県有施設バリアフリー事業 ・ しあわせ福井スポーツ協会が入居している運動公園事務所の入口に自動ドアを設置</p> <p>(4) 情報支援機器設置・貸出事業 ・ 点字プリンターの購入、庁内各課への貸出</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						2,698	2,698	2,698	H28:自動ドア設置、点字プリンター購入		
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	合理的配慮の具体的事例数	(目標)				(10)	(10)	(10)	地域協議会で共有された合理的配慮の対応に関する事例数		
		実績									
活動指標	相談件数	(目標)				(50)	(50)	(50)	差別解消に関する内容についての相談数		
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	2,698	492			2,206	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	障害者差別解消法施行推進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>○法律による規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律では地方公共団体において、障害を理由とする差別の解消の推進に関して必要な施策を策定し、実施することとなっている ・また、自ら設置する施設の構造の改善および設備の整備等に努めなければならないと規定 <p>○法律の適正な運用と県民への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律の施行により、障害者の人権はより守られるべきものとなるが、法律の適正な運用が不可欠 ・障害者からの相談を受けて的確な対応が求められる ・県がバリアフリーや差別解消のための配慮を行うことで、障害者差別解消の推進に関して市町や一般事業者、県民への模範となる必要がある 								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内の障害児者				52,173人（H27.3末手帳所持者数）				
他県の状況	<p>○石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消支援地域協議会を設置予定 ・県民への周知・啓発 <p>○富山県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消支援地域協議会を設置予定 ・県民への周知・啓発 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	障害者差別解消支援地域協議会で協議された内容について、各市町へ情報提供し、県全体で差別解消の推進を図る。 また、障害者と窓口等で接する各市町において、障害者差別に関する事例を集積し、地域協議会での議論を行い、県全体の差別解消に関するレベルアップを進めていく。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

障害者スポーツ振興事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な県政]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				■ 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
平成30年の福井しあわせ元気大会の開催を契機に、障害者スポーツの普及拡大を図ることにより、障害者の社会参加を促進する。											
[事業内容]											
(1) 障害者スポーツの振興支援：しあわせ福井スポーツ協会運営支援…障害者スポーツ振興、障害者スポーツの拠点づくり (2) 競技力向上 ①「チームふくい」アスリート強化事業…「福井しあわせ元気大会」をめざした障害者スポーツ競技力向上 ②全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業…第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」への福井県選手団派遣 ③全国障害者スポーツ大会ブロック予選会開催、派遣事業…団体競技のブロック予選会出場、福井県でのブロック予選会の開催（3競技） ④障害者スポーツ指導者養成事業…障害者が安全にスポーツに取り組むため、競技指導者とともに指導に取り組む障害者スポーツ指導者の養成 ⑤福井県障害者スポーツ大会開催事業…全国大会への出場選手選考、障害者スポーツの普及拡大 ⑥障害者スポーツ人材バンク運営事業…指導者、ボランティア等の登録およびコーディネート (3) スポーツの普及拡大 ①障害者スポーツ教室開催事業…障害者スポーツの普及拡大 ②障害者スポーツ情報発信事業…障害者スポーツに関する情報発信（メールマガジンの発信、広報誌の発行）											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				32,406	28,412	31,187	31,187	31,187	強化練習対象チーム数の増加、強化練習回数の増加 全国障害者スポーツ大会が岩手県開催のため旅費の増加		
2月現計予算額の推移				33,406	28,412						
決算額の推移				32,406							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	「チームふくい」アスリート認定選手数 (目標) 実績			147	226	(270)	(315)	(315)			
活動指標	体験教室参加者数(延数) (目標) 実績			1,350	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)			
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				
予算額	31,187	8,056		繰入 9,508	13,623	事業実施方法	委託				
						補助率	—				

事業評価

事業名	障害者スポーツ振興事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕																			
[事業の必要性・要求の背景]																										
<p>・平成30年に開催される「福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）」の開催を契機に、県民全体に障害者スポーツを知ってもらい、障害者への理解と障害者の社会参加を促進する。</p> <p>・「福井しあわせ元気大会」で行われる正式競技13競技に出場選手を育成することにより、障害者スポーツの普及を図る</p> <p>・「福井しあわせ元気大会」を機に、これまでスポーツにかかわりのなかった障害者も、県全体の気運の高めることにより、体験教室に参加することにより、生活にスポーツを取り入れ、健常者との交流をもつ機会を確保する。</p>																										
[受益者]				[想定される受益者数]																						
障害者(健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く)				身体障害者41,075人、知的障害者6,059人、精神障害者5,039人 合計 52,173人(H27.3現在)																						
他県の状況	<p>○開催2年前の先催県の障害者スポーツ振興予算</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[和歌山県(25)]</td> <td style="text-align: center;">[岩手(26)]</td> <td style="text-align: center;">[愛媛(27)]</td> </tr> <tr> <td>選手育成</td> <td style="text-align: right;">7,990</td> <td style="text-align: right;">4,626</td> <td style="text-align: right;">5,955</td> </tr> <tr> <td>ブロック大会</td> <td style="text-align: right;">407</td> <td style="text-align: right;">1,049</td> <td style="text-align: right;">4,157</td> </tr> <tr> <td>協会支援</td> <td style="text-align: right;">6,169</td> <td style="text-align: right;">6,882</td> <td style="text-align: right;">7,792</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">14,566</td> <td style="text-align: right;">12,557</td> <td style="text-align: right;">17,904</td> </tr> </table>		[和歌山県(25)]	[岩手(26)]	[愛媛(27)]	選手育成	7,990	4,626	5,955	ブロック大会	407	1,049	4,157	協会支援	6,169	6,882	7,792	計	14,566	12,557	17,904	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)		
	[和歌山県(25)]	[岩手(26)]	[愛媛(27)]																							
選手育成	7,990	4,626	5,955																							
ブロック大会	407	1,049	4,157																							
協会支援	6,169	6,882	7,792																							
計	14,566	12,557	17,904																							
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	無																							
[事業の評価]																										
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価																					
<p>【競技力向上】</p> <p>○「チームふくい」アスリート…個人90人、団体12チーム136人指定 個人競技 延84回、団体競技 延230回、合計 延314回の強化練習実施</p> <p>○全国障害者スポーツ大会(和歌山大会(10/24~26)) 福井県選手団21人が出場し、金メダル6個を含む18個のメダル獲得</p> <p>○全国障害者スポーツ大会ブロック予選会…3競技を福井県で開催 合計8チームがブロック予選会に参加</p> <p>○福井県障害者スポーツ大会…5/16, 30, 6/6開催</p> <p>【スポーツの普及拡大】</p> <p>①障害者スポーツ教室…正式競技 延104回、オープン競技等 延27回開催</p> <p>②障害者スポーツ情報発信…メルマガ 1回/月発行、広報誌 1回/年発行</p>		<p>【競技力向上】</p> <p>○「チームふくい」アスリート強化事業…強化練習の充実(回数確保、県外遠征等)</p> <p>○全国障害者スポーツ大会ブロック予選会…団体競技7競技12チームの参加</p>			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																		
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																			
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																			

(新) 未来のパラリンピアン支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等			政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現；文化芸術を身近に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
[事業目的]												
東京パラリンピックへの出場をめざす本県出身・在住の障害者アスリート（未来のパラリンピアン）を支援する												
[事業内容]												
東京パラリンピックへの出場をめざす本県出身・在住の障害者アスリートの国際大会および国内練習拠点への移動にかかる自己負担経費に対して支援する												
[対象者] 東京パラリンピックへの出場をめざす本県出身・在住の障害者アスリート												
[想定選手] 日本パラリンピック委員会加盟競技団体強化指定選手等												
[対象経費] 国際大会および強化練習にかかる自己負担経費（旅費（渡航費）、宿泊費等） 補助上限額：500千円／選手1人あたり												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						2,000	2,000	2,000	29年度以降は日本パラリンピック委員会加盟競技団体強化指定選手等の人数による			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	東京パラリンピック出場 (目標) 実績								2020東京パラリンピックを目指す福井県ゆかりの選手を応援する			
活動指標	強化練習会等出場 (目標) 実績					(40)	(40)	(40)	想定する対象者：高田、永下、今村、西島、			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	本県出身・在住の障害者アスリート					
予算額	2,000				2,000	事業実施方法	補助					
						補助率	定額					

事業評価

事業名	未来のパラリンピアン支援事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>パラリンピック出場を目指す障害者アスリートにとって、国際大会等への参加は、パラリンピックへの出場権を得るために不可欠だけでなく、技術を磨き経験を積む貴重な機会でもあるが、そのための参加費や渡航費などの個人負担が大きいため、参加を断念せざるを得ないケースもある。</p> <p>これらの、障害者アスリートの活躍は、同様の障害を持つ方々にとっても大きな希望であり、障害者スポーツの認知度を向上させ、全国障害者スポーツ大会や東京パラリンピック開催への気運の高まりが期待されることから、東京パラリンピックへの出場を目指す本県の障害者アスリート（未来のパラリンピアン）を支援する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
本県出身・在住の障害者スポーツアスリート				4名：H27年10月時点			
他県の状況	石川県：国際大会に出場する選手に対する支援は、該当事業なし。 富山県：国際大会に出場する選手に対して、渡航費の実費の1/2、宿泊費は県旅費規程に定める額の1/2を2泊を上限として補助 新潟県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県で、パラリンピック出場をめざす障害者アスリートを支援する事業を実施・検討中。	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	無				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新 障害者スポーツ交流推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な県政]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H30 年度	
関連する県の計画等		政策	[県民総参加の福井国体]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）の開催に向けて、健常者と障害者が、ともにスポーツを楽しむことにより、障害に対する理解と障害者の社会参加を促進し、大会への関心を高めるとともに、国体・大会での障害者と健常者の交流、融合推進に寄与する。</p>												
<p>(1) スポーツイベント等交流体験事業（H28年度：車椅子バスケットボール）</p> <p>①障害者スポーツエキシビジョンゲーム 全国トップレベルの障害者アスリート（チーム）を招聘し、国内トップレベルのエキシビジョンゲームを実施 福井しあわせ元気スポーツフェスタ（12月、サンドーム）にて開催</p> <p>②障害者スポーツ体験交流 健常者・障害者が車椅子バスケットボールを体験、特別支援学校生徒との交流では新たな選手を発掘 福井しあわせ元気スポーツフェスタ（12月、サンドーム）、県民スポーツ祭（バスケットボール競技、8月）にて開催</p> <p>(2) 県障害者スポーツ大会と県民スポーツ祭における交流（既存予算内） 県障害者スポーツ大会で「オープン競技」に健常者も参加（対象競技：ゲートボール、卓球バレー、車椅子テニス） 県民スポーツ祭「交流の部」への障害者の参加（対象競技：陸上競技、アーチェリー、ボウリング 等）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						2,883	2,883	2,883	H28年度は体験交流用の備品購入費を計上			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	体験交流等参加者数	(目標)				(50)	(50)	(50)				
		実績										
活動指標	体験交流等参加可能競技数	(目標)				(6)	(7)	(8)				
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	繰入	その他	一般財源	事業主体		しあわせ福井スポーツ協会			
予算額	2,883				繰入 2,883		事業実施方法		委託			
							補助率					

事業評価

事業名	障害者スポーツ交流推進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>福井しあわせ元気大会を成功させるには家族等の関係者のみならず、一般県民の盛り上がりが必要不可欠である。そのため、一般県民が参加するスポーツイベントにおいて、全国トップレベルの障害者スポーツを肌で感じてもらうとともに障害者スポーツを通じた体験交流等によって福井しあわせ元気大会の機運を高めていく。また、県障害者スポーツ大会においても健常者や健常者との混合チームの参加を可能とすることで、障害者スポーツへの関心を高めていく。</p>							
[受益者] スポーツイベント参加者および体験交流等の参加者				[想定される受益者数] 県民スポーツ祭参加者、福井しあわせ元気スポーツフェスタ参加者、学校訪問の生徒等			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

重症心身障害児者と家族のための在宅生活サポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H37 年度
			政策 [「温かい福祉県」の実現]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
関連する県の計画等			[]				■ その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
医療的ケアを必要とする重症心身障害児者が安心して在宅での生活を続けられるよう、介護を行う家族の精神的・身体的負担の軽減等を図ります。												
[事業内容]												
福祉型の障害児通所支援事業所および短期入所事業所が、医療的ケアが必要な重症心身障害児者（以下、対象者）を受け入れまたは送迎した場合に対して支援 ※主に重症心身障害児を通わせる事業所として指定されている事業所については、定員の2割を超えた対象者の受け入れ等に対して支援												
障害児通所支援事業所						短期入所事業所						
①対象者を受け入れた場合に補助 利用時間が4時間以上の場合 5,150円/人 利用時間が4時間未満の場合 3,600円/人						①対象者を受け入れた場合に補助 10,300円/人						
②運転手以外に支援員等1名以上が付き添い送迎した場合に補助 720円/片道						②運転手以外に支援員等1名以上が付き添い送迎した場合に補助 720円/片道						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					5,960	15,247	19,727	23,845				
2月現計予算額の推移					8,500							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	補助対象者延べ人数	(目標)			(2,216)	(3,240)	(4,080)	(4,920)	・ 障害児者の福祉サービス利用状況より、医療的ケアを必要とする重症心身障害児者のH30の利用見込みを推計			
		実績										
活動指標	医療的ケアが可能な事業所数	(目標)			(12)	(17)	(22)	(27)	・ H30には、医療的ケアに対応する見込みのある全27事業所において受け入れることを想定			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	繰入	その他	一般財源	事業主体		福祉型の障害児通所および短期入所を行う事業所			
予算額	15,247				15,247		事業実施方法		補助			
							補助率		県10/10			

事業評価

事業名	重症心身障害児者と家族のための在宅生活サポート事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>○重症心身障害児者は重度の知的障害と重度の肢体不自由を重複しており、常時の介護や医療的ケアが必要</p> <p>○介護を行う家族の精神的・身体的負担は非常に大きく、福祉サービス利用による負担軽減が求められる</p> <p>○在宅の重症心身障害児者は増えているが、医療的ケアが可能な事業所は少なく、対応できる事業所でも受け入れ人数は限られている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の重症心身障害児者 H21末 217人 → H26末 231人 ・医療的ケアが可能な事業所 障害児通所支援7か所、短期入所3か所（H27.10現在の申請事業所） <p>○そのため、対象者を受け入れまたは送迎した場合に事業所に対して補助をすることで、受け入れ可能な事業所を増やし、重症心身障害児者とその家族の負担軽減を図る必要がある</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
医療的ケアが必要な在宅の重症心身障害児者およびその家族				在宅の重症心身障害児者231人のうち、医療的ケアが必要な児者			
他県の状況	重症心身障害児者等を受け入れまたは送迎する事業所に対して補助をしている自治体 ○福祉型障害児通所支援事業所に対する補助を実施 5都県（東京都、山梨県、長野県、鳥取県、島根県） ○福祉型短期入所事業所に対する補助を実施 10県（千葉県、神奈川県、長野県、岐阜県、愛知県、鳥取県、島根県、岡山県、佐賀県、長崎県） ※H26.10調査時	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	市町を通して重症心身障害児者の人数を把握する				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
H28.1現在の申請事業所数 ・障害児通所支援 9か所 ・短期入所 3か所		今後も事業を継続し、医療的ケアが必要な重症心身障害児者を受け入れる事業所数を増やす		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

障害者就労支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
[事業目的]												
障害者施設が実施している食品製造事業や受託作業等について、アドバイザーを派遣し、より経営効率の高い形態へ転換し、障害者の賃金の向上を図る。												
[事業内容]												
<p>①新しい分野への事業進出への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉事業所が進出する事業での新たな取組みや新規に立ち上げた事業所等に、経営コンサルタント（中小企業診断士等）を派遣（年間8施設（1回／施設）、例：レストラン経営へ進出する際の経営指導等） <p>②製造・作業の技術力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業等での豊富な経験のある者等を商品開発・作業向上アドバイザーとして障害福祉事業所に派遣（年間9施設（10回／施設）） <p>③障害者支援の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉事業に豊富な経験のある者（特に精神障害者への支援に関しては精神保健福祉士）を障害福祉事業所に派遣（年間9施設（3回／施設）） <p>④県庁での新しい就労形態実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害者を対象に県庁内で新しい施設外就労を実施（標準外予算資料P. 453参照） ・ 就労人数：発達障害者 1人 実施期間：5か月 障害者施設へ委託（特別児童扶養手当支給事業事務費予算） 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,368	2,139	2,874	1,895	1,663	1,663	1,663				
2月現計予算額の推移		2,368	2,139	2,015	1,895							
決算額の推移		1,130	1,510	1,097								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	就労継続支援B型事業所月額平均賃金 (目標)	(18,900)	(19,400)	(20,000)	(23,100)	(25,400)	(30,000)		障害者福祉計画に記載の平成29年度B型事業所目標賃金30,000円とする。			
	実績	19,548	19,733	20,501								
活動指標	アドバイザー派遣回数 (目標)				(100)	(100)	(100)					
	実績	104	109	98								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県セルフ振興センター					
予算額	1,663	831			832	事業実施方法	委託					
						補助率						

事業評価

事業名	障害者就労支援事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>障害者の経済的な自立を支援するためには、安定した就労の場を確保するとともに、障害者施設賃金を向上させることが必要である。また、精神障害者の増加とともに精神障害者の就業時間の短さや生産性の伸びにくさが課題となっている。そのための手立てとして、施設が実施している作業内容や自主製品を経営効率の高い形態にしていくとともに、精神障害者の働く環境を向上させ、労働時間の延伸や生産性を見込むことができ、障害者施設賃金の向上につなげる。</p>							
[受益者] 障害者就労継続支援A型B型事業所とその利用者				[想定される受益者数] 2,696人（障害者就労継続支援A型B型事業所定員数）			
他県の状況	平成25年度 障害者施設賃金実績 A型 73,197円（全国16位） B型 19,733円（全国1位） 平成26年度 障害者施設賃金実績 A型 75,210円（順位未発表） B型 20,501円（ " ）	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 セルフ商品販売促進事業 （役割分担） 農産物を生産している施設に対する専門家の派遣、道の駅等におけるマルシェの開催を実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○セルフ振興センター委託 ・商品開発、作業向上アドバイザー派遣 6事業所（47回） ・障害者支援アドバイザー派遣 1事業所（3回） ○県実施 ・精神障害者支援アドバイザー派遣 13事業所（26回）		精神障害者支援アドバイザー派遣については新規で実施することになったため県が行ったが、28年度からは、他のアドバイザー派遣と同様にセルフ振興センターに委託する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新 セルフ商品販売促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[優れた医療と支え合いの福祉]				□ 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県障害者福祉計画]				□ その他	□ その他				
[事業目的]												
障害者施設で生産している農産物等の新たな販売ルートを開拓し、障害者賃金の向上を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 専門家の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者就労施設で生産している農産物等の生産力アップ等を助力する専門家を派遣 ・ 地域のスーパー等で勝ち残るための農産物等へ育成 <p>(2) 販売ルートの開拓</p> <p>セルフ商品の周知を図り、新たな販売ルートへの足掛かりを得る（農業に取り組む全33事業所の参加によるマルシェの開催）</p> <p>① 県内の道の駅（14カ所）、各地域主要ショッピングセンター（5カ所）にてマルシェの開催</p> <p>② 県・市町のイベントへの出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きらめきフェスティバル（生活学習館）、交流ひろば（青少年センター）、花とみどりのフェア（森づくり課）、福井市健康フェア等 <p>③ イベント用の広報用品、雑誌掲載等</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						4,313			平成28年度の国予算で初めて計上された事業であるため、今後の実施については未定			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	就労継続支援B型事業所	(目標)	(18,900)	(19,400)	(20,000)	(23,100)	(25,400)	(30,000)	障害者福祉計画に記載の平成29年度B型事業所目標賃金30,000円とする。			
	月額平均賃金	実績	19,548	19,733	20,501							
活動指標	マルシェの開催数	(目標)				(42)			道の駅14カ所×2回、ショッピングセンター5カ所×2回 県・市町のイベント4回			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,313	4,313				事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	セルフ商品販売促進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>障害者の経済的な自立を支援するためには、安定した就労の場を確保するとともに、障害者施設賃金を向上させることが必要である。障害者施設の行う農業については、これまで「働く障害者の生産力アップ事業」において、野菜や果物等の生産性を上げてきているところであるが、より一層のブランド力向上と販路の拡大が課題となっている。平成28年度の国予算において、農福連携による障害者の就農促進のための専門家派遣やマルシェ開催支援への補助がある。</p>							
[受益者] 障害者就労継続支援A型B型事業所とその利用者				[想定される受益者数] 2,696人（障害者就労継続支援A型B型事業所定員数）			
他県の状況	平成25年度 障害者施設賃金実績 A型 73,197円（全国16位） B型 19,733円（全国1位） 平成26年度 障害者施設賃金実績 A型 75,210円（順位未発表） B型 20,501円（ " ）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 障害者就労支援事業 （役割分担） 障害者施設への専門家派遣において、農産物等に関わる内容以外の専門家（商品開発、障害者支援、経営指導等）については、障害者就労支援事業にて実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

成年後見制度支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H30 年度
		政策 []			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
知的障害により判断や管理の能力が十分でない人が、親の亡きあとも安心して暮らせるよう、障害者の権利擁護を図る体制を整備する。											
[事業内容]											
<p>(1) 成年後見制度に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の親や家族を対象としたワークショップ（相談会）の開催 ・ 成年後見や法人後見について理解を深めるための研修会への参加（社協等が開催している講座への参加） <p>(2) 法人後見の活動を安定的に実施するための組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人後見専門員の配置 ・ 成年後見支援員の養成 ・ 法人後見の体制整備のための検討会の設置（法人後見実施要綱の作成、運営委員会の体制づくり） ・ 法人後見運営委員会の設置（後見受任の適否の判断、適切な支援内容の検討、後見業務の監督） <p>(3) 法人後見の適正な活動のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士などの専門職（法律、税金、医療・福祉）によるアドバイザーと連携し、法人後見団体が困難事例等に円滑に対応できるための体制を整える。 											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				3,184	3,156	3,201	3,201	3,201	成年後見支援員の養成		
2月現計予算額の推移				3,184	3,156						
決算額の推移				2,297							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	法人後見受任件数 (目標) 実績							(3)	法人後見の運営法人としての認可をめざす (H30)		
活動指標	ワークショップの開催数 (目標) 実績			6	(12)	(12)	(12)	(12)			
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県手をつなぐ育成会			
予算額	3,201	1,600			1,601	事業実施方法		委託			
						補助率					

事業評価

事業名	成年後見制度支援事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>①成年後見人の需要は高まっているが、現状では利用が進んでいない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人が必要と想定される人の割合 33.1% (県社協アンケート調べ) ・障害福祉サービスの利用契約において成年後見人を利用している人の割合 5.6% <p><利用が進まない理由> 後見報酬の支払いが困難37.7% 後見人の候補者がいない30.0% (県社協アンケート調べ)</p> <p>②成年後見制度があることは知っているが内容が十分に理解されていない (育成会アンケート)</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
知的障害および精神障害者とその支援者 (家族)							
他県の状況		前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		無	事業名		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
家族支援セミナー、ワークショップの開催：6回 成年後見人セミナー、勉強会の開催：8回 検討委員会の開催：5回 アンケートの実施：156部改修		市民後見講座を受講し、法人後見運営法人としての認可をめざす		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

障害者虐待防止・権利擁護推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了予定年度 H30 年度	
関連する県の計画等			[福井県障害者福祉計画]								
[事業目的]											
障害者虐待について、体制整備を検討するための部会を設けるとともに、市町職員や施設等従事者に対する研修を行うことにより、未然防止、早期発見、迅速な対応をとるための体制を確保する。											
[事業内容]											
(1) 障害者虐待連携協力体制整備事業 ・ 障害者自立支援協議会内に「障害者虐待防止・権利擁護部会」を設置 ・ 障害者の相談を実施する関係機関による相互の連絡体制や未然防止、早期発見のための対策を協議 (2) 障害者虐待防止・権利擁護研修事業 ・ 厚生労働省が実施する指導者養成研修への派遣 ・ 障害者福祉施設や市町権利擁護センター・虐待防止センター担当職員等への研修の実施 (3) 障害者権利擁護法的対応強化事業 ・ 総合福祉相談所内において月一回の弁護士相談窓口を設置 ・ 緊急事例等がある場合には、各市町窓口に弁護士を派遣											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				1,540	828	757	757	757	研修および弁護士相談に係る報償費、旅費等が増減したこと		
2月現計予算額の推移				843	828						
決算額の推移				843							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	虐待認定件数	(目標)			(12)	(12)	(12)	(12)	障害者虐待防止法が施行されたH24.10からの認定件数		
		実績	2	22	12						
活動指標	研修参加者数	(目標)				(330)	(330)	(330)			
		実績		326	345	320					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	750	372			378	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	障害者虐待防止・権利擁護推進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本 雅裕
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>現状</p> <p>○相談窓口の整備 (平成24年10月「虐待防止法」施行) ・市町→障害者虐待防止センター(17市町) ・県→障害者権利擁護センター(総合福祉相談所に附置)</p> <p>○県内の状況 H25.4~26.3 虐待認定件数22件 ↓ H26.4~27.3 " 12件 と減少している</p> <p>○重大事件の状況 ・H26.11 千葉県袖ヶ浦市障害者施設 「千葉県袖ヶ浦福祉センター養育園」暴行事件</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>課題</p> <p>○障害者虐待は家族、福祉施設、労働と多岐にわたっているが、各分野が緊密に連携していない。 ○障害者虐待の特徴は、被虐待者が訴えることが困難であることや、被虐待者が虐待と認識できない事例が多く、表面化していない。 また、明らかになった時点には重大化してしまう。 ○障害者の特徴から、虐待対応には、法的対応を必要とするが、県内相談窓口には弁護士等が配置されていない。</p> </div> </div>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の障害者、障害児				5,179人(26年度末手帳保持者数)			
他県の状況	近隣他県の状況について 福井県における事業内容と同様な事業について(1)~(3)を使用 ○石川県(2,309千円) 実施事業:(1)、(2)、(3) 26年度研修参加者数:161人 " 虐待認定件数:21件 ○富山県(2,627千円) 実施事業:(1)、(2)、事例集の作成 26年度研修参加者数:109人 " 虐待認定件数:8件			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	擁護者、施設従事者等からの虐待に関する助言 市町の確認調査への同行 被虐待者、擁護者等へのカウンセリング		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
概ね目標を達成している (28.1時点実績) ○研修実施回数:2回、参加者数:320人 ○弁護士相談件数 定期:1件、緊急:3件 ○部会開催回数:1回		今後も事業を継続し、担当職員の資質向上と関係機関との連携を図り、虐待の未然防止、早期発見の体制を確保する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

発達障害者支援体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕																																											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度 H22 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度																																											
関連する県の計画等		政策 [2 福井から人材育成]			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金																																															
		[]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他																																															
<p>[事業目的]</p> <p>自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害を有する障害児者およびその境界域の者で支援が必要なものについて、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障害児者等の地域における生活を支援する。</p>																																																						
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 福井県方式の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ツール活用研修 福井県方式支援ツール「子育てファイルふくいっ子」を用いて、現場において直接支援に従事する保育士、保健師等に対する研修 ・支援ツール普及促進 福井県方式支援ツール「子育てファイルふくいっ子」を市町、保育園等に配備、様式の提供 ・メールマガジンの発信 具体的事例に即した「気になる子」への対応方法をメールマガジン方式で配信 <p>(2) 理解促進と市町支援体制整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者支援体制整備検討委員会の開催 ・発達障害者地域支援マネジャーの配置（委託先（福）ウエルビーイングつるが）市町・事業所等支援、医療機関との連携 ・理解促進パンフレットの作成・配布 3歳児健診時の保護者や高校1年生の保護者に配布 ・ペアレントメンターの養成・活動 発達障害児者の子育て経験のある保護者がその経験を活かして相談・助言を行う ・支援者向け研修 行動障害を含めた大人の発達障害者への支援について、事例検討も含めた、事業所職員、教員等に対する研修 																																																						
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td>12,660</td> <td>8,659</td> <td>12,938</td> <td>12,767</td> <td>12,687</td> <td>12,687</td> <td>12,687</td> <td rowspan="3">・H26から発達障害者地域支援マネジャー（H25までの名称は、市町サポートコーチ）を1名から2名に増員</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td>8,520</td> <td>8,659</td> <td>12,938</td> <td>12,767</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>8,333</td> <td>8,659</td> <td>12,938</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移	12,660	8,659	12,938	12,767	12,687	12,687	12,687	・H26から発達障害者地域支援マネジャー（H25までの名称は、市町サポートコーチ）を1名から2名に増員	2月現計予算額の推移	8,520	8,659	12,938	12,767				決算額の推移	8,333	8,659	12,938													
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																														
当初予算額の推移	12,660	8,659	12,938	12,767	12,687	12,687	12,687	・H26から発達障害者地域支援マネジャー（H25までの名称は、市町サポートコーチ）を1名から2名に増員																																														
2月現計予算額の推移	8,520	8,659	12,938	12,767																																																		
決算額の推移	8,333	8,659	12,938																																																			
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>(17)</td> <td>(17)</td> <td rowspan="2">・マネジャーの指導・助言により、市町の支援体制が整備される。</td> </tr> <tr> <td>発達障害者地域支援マネジャーによる指導・助言がなされた市町</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>17</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(170)</td> <td>(170)</td> <td>(170)</td> <td>(170)</td> <td rowspan="2">・マネジャーが関係機関の要請により、指導・助言を行う。</td> </tr> <tr> <td>発達障害者地域支援マネジャーによる関係機関への指導等回数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>169</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標					(17)	(17)	(17)	・マネジャーの指導・助言により、市町の支援体制が整備される。	発達障害者地域支援マネジャーによる指導・助言がなされた市町	—	—	17	17				活動指標				(170)	(170)	(170)	(170)	・マネジャーが関係機関の要請により、指導・助言を行う。	発達障害者地域支援マネジャーによる関係機関への指導等回数	—	—	169				
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																														
成果指標					(17)	(17)	(17)	・マネジャーの指導・助言により、市町の支援体制が整備される。																																														
発達障害者地域支援マネジャーによる指導・助言がなされた市町	—	—	17	17																																																		
活動指標				(170)	(170)	(170)	(170)	・マネジャーが関係機関の要請により、指導・助言を行う。																																														
発達障害者地域支援マネジャーによる関係機関への指導等回数	—	—	169																																																			
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 15%;">国庫</th> <th style="width: 15%;">起債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県、（福）ウエルビーイングつるが</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>12,687</td> <td>6,341</td> <td></td> <td></td> <td>6,346</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営、委託</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、（福）ウエルビーイングつるが	予算額	12,687	6,341			6,346	事業実施方法	直営、委託							補助率	—																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、（福）ウエルビーイングつるが																																															
予算額	12,687	6,341			6,346	事業実施方法	直営、委託																																															
						補助率	—																																															

事業評価

事業名	発達障害者支援体制整備事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>発達障害児者の支援で重要なのは、早期発見・早期支援・途切れない支援であり、そのためには、共通した支援ツールの普及や支援者のスキルアップが必要である。</p> <p>また、発達障害児者の支援を考えるうえで、身近な地域である市町の体制を整えることは重要であり、同時に本人だけでなく、保護者への支援や支援機関への指導・助言、情報提供、関係機関との連携なども重要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
発達障害児者およびその境界域の者、保護者、および市町や関係機関の支援者等								
他県の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害者支援センターは、全都道府県に設置されており、センターを中心に各都道府県の体制を整備している。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児（者）支援センター運営事業 (役割分担) ・発達障害者地域支援マネジャーは、発達障害児（者）支援センターに配置されており、センターと連携しながら、市町や事業所への指導・助言、医療機関等との連携を行う。			市町との連携状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害者地域支援マネジャーの指導・助言により、各市町の支援体制が整備され、県全体の支援体制が充実する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
23～27年度にかけて、現場の保育士等を対象に福井県方式支援ツールの活用研修を実施してきた。		28年度からは、現場の保育士等を対象にした研修会に加え、事業所職員や教員等を対象に、大人の発達障害者の支援者向け研修会を実施			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ひきこもり対策推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
		政策	[3 先進的な医療と福祉 健康長寿のふるさと貢献]				□ 県単	□ 補助金	経過年数			
関連する県の計画等		[]					□ その他	□ その他	3 年			
[事業目的]												
ひきこもりに関して、ひきこもり本人やその家族等からの相談に対応する総合的な相談窓口を設けるとともに、地域における関係機関とのネットワークの構築や支援機関との調整を行うなど、ひきこもり本人やその家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、対象者の福祉の増進を図ることを目的とする。												
[事業内容]												
(1) 本人および家族からの相談 ひきこもり本人、家族等からの電話、来所、訪問等による相談に応じる。 (2) 他の関係機関との連携 対象者の状態に応じた適切な支援を行うため、関係機関での情報交換等、各機関で恒常的な連携を図る。 (3) 情報発信 会報、リーフレットの作成等により、ひきこもりに関する普及啓発を図る。 (4) その他のひきこもり対策推進事業 関係機関、本人、家族を対象とした研修会・学習会の開催、ひきこもり本人や親を対象とした心理教育的なグループワーク、本人が安心して過ごせる場の設置												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				3,137	2,883	2,796	2,796	2,796				
2月現計予算額の推移				2,926	2,883							
決算額の推移				2,870								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ひきこもりの相談件数 (目標)				(400)	(400)	(400)	(400)	・本人や家族が相談を行うことでひきこもりへの対応について正しく理解し対応することができる。			
	実績			359								
活動指標	フリースペースへの参加実人員 (目標)				(20)	(20)	(20)	(20)	・本人や家族への相談、支援によりひきこもり当事者がひきこもり状態から脱し社会との交流を深めることができる。			
	実績			19								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	2,796	1,259		諸 276	1,261	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	ひきこもり対策推進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>・ひきこもりは少なくとも半年以上は社会参加ができずにいる状態であり、かつ、社会生活の再開が著しく困難となり精神保健・福祉・医療が必要となる。また、ひきこもりが長期化すると年齢相当の社会経験を積む機会を失い就労等の社会参加を妨げることにもつながる。</p> <p>・ひきこもりの長期化を防ぐためにも、家族が抱え込まない早期の段階での相談・受診等の適切な対応が必要である。また、長期のひきこもり当事者の回復には時間を要するため継続的な支援が必要であり、社会参加に必要なソーシャルスキル・対人スキルを身につける場の提供などの体制を整えることが重要であり、同時に本人や家族だけでなく支援機関への情報発信、関係機関とのネットワークの構築が必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
ひきこもり当事者、家族および関係機関の支援者等								
他県の状況	・ひきこもり支援センター設置数 56自治体 (都道府県39、指定都市17)			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	・各市町においてもひきこもりに関する相談を受けており、より専門的な対応が必要な事例について紹介を受けたり、市町に対する助言・指導を行っている			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・H26年度にひきこもり支援センターを総合福祉相談所内に設置し総合的な相談窓口として支援を行っている。相談件数も設置前と比べ3倍と増加している。また、ひきこもり当事者への積極的な支援としてアウトリーチ(家庭訪問等)も重点的に行っている。長期ひきこもり者への支援が中心であり、回復までに時間を要するため支援の効果がみえにくい。		・今後も事業を継続し、ひきこもり本人や家族への支援を行うとともに関係機関のネットワーク構築を図る。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

精神障害者家族支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕																																											
福井ふるさと元気宣言における位置付け		政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度																																											
関連する県の計画等		■ 無 政 策	[先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				<input type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金				<input checked="" type="checkbox"/> そ の 他																																										
<p>[事業目的]</p> <p>精神疾患や精神障害者に対する県民の理解を促進するとともに、同じ悩みを抱えた当事者同士が気軽に相談できる体制づくりを進め、精神障害者の社会参加の促進、地域における共生を目指す。</p>																																																						
<p>福井県精神保健福祉家族会連合会への委託</p> <p>(1) 理解促進事業 ・ 講演会の開催 ・ 広報啓発活動</p> <p>(2) 相談体制整備事業 ・ 相談会の開催 ・ 研修会の開催</p>																																																						
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">753</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">753</td> <td style="text-align: center;">753</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">753</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移			753	753	753	753	753		2月現計予算額の推移			753	753				決算額の推移			753													
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																														
当初予算額の推移			753	753	753	753	753																																															
2月現計予算額の推移			753	753																																																		
決算額の推移			753																																																			
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>相談会開催回数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(12)</td> <td style="text-align: center;">(12)</td> <td style="text-align: center;">(12)</td> <td style="text-align: center;">(12)</td> <td rowspan="2">同じ悩みを抱えた当事者同士が気軽に相談できる機会の提供</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>講演会参加者数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(350)</td> <td style="text-align: center;">(350)</td> <td style="text-align: center;">(350)</td> <td style="text-align: center;">(350)</td> <td rowspan="2">精神疾患や精神障害者に対する県民の理解促進の機会の提供</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">350</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	相談会開催回数	(目標)		(12)	(12)	(12)	(12)	同じ悩みを抱えた当事者同士が気軽に相談できる機会の提供			実績	12					活動指標	講演会参加者数	(目標)		(350)	(350)	(350)	(350)	精神疾患や精神障害者に対する県民の理解促進の機会の提供			実績	350				
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																														
成果指標	相談会開催回数	(目標)		(12)	(12)	(12)	(12)	同じ悩みを抱えた当事者同士が気軽に相談できる機会の提供																																														
		実績	12																																																			
活動指標	講演会参加者数	(目標)		(350)	(350)	(350)	(350)	精神疾患や精神障害者に対する県民の理解促進の機会の提供																																														
		実績	350																																																			
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">福井県精神保健福祉家族会連合会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">753</td> <td style="text-align: center;">376</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">377</td> <td>事業実施方法</td> <td>委託</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県精神保健福祉家族会連合会	予算額	753	376			377	事業実施方法	委託							補助率	—																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県精神保健福祉家族会連合会																																															
予算額	753	376			377	事業実施方法	委託																																															
						補助率	—																																															

事業評価

事業名	精神障害者家族支援事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>①一部の精神障害者による凶悪事件の発生など、精神疾患や精神障害者に対する誤解や偏見が根強く、精神障害者の地域移行を進めるためには、県民の理解が不可欠</p> <p>②うつ病や認知症の増加などにより、精神障害者が年々増加する中、それを支える家族会等の組織化が進まず、また会員の高齢化も進展し、相談活動などの活動に支障を来している。</p> <p>③改正障害者基本法（H23. 8. 5公布）において、新たに国及び地方公共団体は、障害者の家族が互いに支え合うための活動の支援を適切に行うこととされた。</p>							
[受益者] 精神障害者の当事者、家族および関係機関の支援者等				[想定される受益者数]			
他県の状況	・ 4 1 都道府県が精神障害者家族会連合会へ支援（平成26年度）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
県内各支部単位の身近な地域において相談会等を開催し、精神疾患に関する相談体制の充実に寄与している。		・ 今後も精神障害者の増加が見込まれることなどから、事業を継続し、精神障害者本人や家族への支援を行い、精神障害者の社会参加の促進、地域における共生を目指す。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

災害時こころのケア活動体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け		政推枠 ビジョン []				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 6 年	事業終了予定年度 H30 年度	
関連する県の計画等		[福井県障害者福祉計画、福井県地域防災計画]									
[事業目的] 大規模な自然災害等の発生時に被災地において精神科医療や精神保健活動等を行う「こころのケアチーム」を災害派遣精神医療チーム（DPAT）として位置付け、災害発生時に備えて関係機関の連携体制の整備、チーム員の資質向上を図る。											
(1) DPAT調整会議の開催 精神科医療機関や精神保健福祉士協会、臨床心理士会等の関係機関で構成するDPAT調整会議を開催し、関係機関の役割分担や連絡体制の確認、活動マニュアルの周知、チーム員の研修計画、県災害対策本部での位置付け等について検討を行う。 ・DPAT調整会議 1回/年 (2) 研修事業等の実施 災害時こころの情報支援センター等が開催する中央研修に職員を派遣するとともに、チームの構成員となる精神科医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士等を対象とした研修会を開催する。 ・DPAT研修会 1回/年 (内容) PTSD（心的外傷後ストレス障害）等の専門的なケアに関する研修 災害発生時における指揮・調整やロジスティックス等DPAT体制の整備に関する研修											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		112	—	417	219	175	175	175	・研修会経費について事務費対応とすることで、H25年度に整理統合 ・H26年度は国において災害派遣精神医療チーム（DPAT）活動要領を定めるなど、全国的な体制整備に対応するために事業実施 ・平成27年度予算額については、研修回数等を見直した。		
2月現計予算額の推移		112	—	171	219						
決算額の推移		109	—	152							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	調整会議開催回数	(目標)			(1)	(2)	(2)	(2)	関係機関の連携体制等を検討し整備を図る。		
		実績	—	—	1						
活動指標	研修会等の開催回数	(目標)			(1)	(1)	(1)	(1)	災害発生時に備えてDPATチーム員の資質向上を図る。		
		実績	2	—	1						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	175	87			88	事業実施方法	直営				
						補助率	—				

事業評価

事業名	災害時こころのケア活動体制整備事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>土砂災害や火山噴火など各地で発生する災害時において、心のケア活動の重要性が認識されるようになり、県内における体制整備を進めていく必要があり、こころのケアチーム「災害派遣精神医療チーム（DPAT）」について、災害発生時に備えて関係機関の連携体制の整備、チーム員の資質向上を図る必要がある。</p>							
[受益者] 災害時にこころのケアが必要な被災者や支援関係者				[想定される受益者数]			
他県の状況	DPAT先遣隊を組織できる機関（平成27年度） 18府県	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	災害発生時に備えて市町の関係機関との連携体制を検討していく。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
中央研修に参加し、知識や技術の習得に努め、県内の体制整備に向けた取組みを進めている。 連絡会議において、チーム編成や先遣隊の整備等について検討を行っている。		DPAT連絡会議における検討結果をもとに、関係機関等と調整を行い、DPATのチーム編成や先遣隊等の整備を進める。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

子どもの心の診療医養成研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
		政策	[2 福井から人材育成]				□ 県単	□ 補助金			
関連する県の計画等			[]				□ その他	□ その他			

[事業目的]

発達障害児をはじめとする様々な子どもの心の問題に対応するため、県内の医師、特にかかりつけ医を対象とした研修を実施し、発達障害に関する基礎的な知識や診療の際に役立つ技術を習得してもらうことで、身近な地域における子どもの心の診療、支援体制の強化を目指す。

[事業内容]

(1) ワーキング委員会、ネットワーク協議会の開催
子どもの心の診療体制を整備するために必要な関係機関で構成されるネットワーク協議会を開催
研修カリキュラム等の研修内容の承認および診療・支援体制についての検討

(2) 診療医養成研修
①研修実施期間
第1期 平成25年度～27年度（3か年） 第2期 平成26年度～28年度（3か年）
②研修内容
第2期の3年目の研修（実践講座）の開催。研修の対象は小児科医、精神科医に限定せず、かかりつけ医を含めた医師全般とする。
③ワーキング委員会
研修内容のプログラム、教材資料の検討

(3) 子どもの心の専門医等養成についての検討会
県内での専門医等養成（県内医療機関での専門医養成、専門医を目指す医師の中央研修への派遣、発達障害児支援に対応できるコメディカルの人材育成 等）について検討

（単位：千円）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移		4,887	2,485	2,544	2,074			* H29年度からは子どもの心の専門医養成のための事業を検討
2月現計予算額の推移		2,454	2,485	2,544				
決算額の推移		1,999	2,382					

[成果指標等の推移]

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	研修受講医師から専門機関への紹介数	(目標)		(25)	(30)	(35)		・診療医養成研修を受講した医師が、地域で発達障害児者に気づき、早期に適切な専門機関（医療、療育）に繋げることにより地域での支援体制を強化。
		実績		27				
活動指標	研修受講者数（累計）	(目標)	(70)	(135)	(150)	(154)		・地域のかかりつけ医が研修を受講することで発達障害の診療に必要な知識と技術を習得することができる。
		実績	74	139				

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	2,074	1,037			1,037	事業実施方法	直営
						補助率	—

事業評価

事業名	子どもの心の診療医養成研修事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>・発達障害児者への支援には早期発見・早期支援が重要であり医療と療育との連携が不可欠である。</p> <p>・現在、県内において発達障害など子どもの心の問題について専門的に対応できる医師は限られており、専門医による診断までに時間を要している。県内の医師、特にかかりつけ医を対象とした研修を実施し、発達障害に関する基礎的な知識や診療の際に役立つ技術等を習得してもらい、本人や家族への気づきの促しや相談支援機関への紹介を行うことで、身近な地域における子どもの心の診療・支援体制の強化を目指す。また、県内での専門医等養成の体制を検討することにより人材育成を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
発達障害児者およびその家族、地域の支援機関の関係者							
他県の状況	・19都道府県で子どもの心の診療ネットワーク事業を実施。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・地域のかかりつけ医が発達障害等の診療の知識と技術を習得することで早期発見・早期支援に繋がり、市町や地域の療育支援機関との連携が強化され支援体制が強化される。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・H25～27にかけて地域のかかりつけ医を対象に研修会を実施し人材育成を行い150名の受講があった。		・28年度で子どもの心の診療医養成研修が修了。 ・現状として専門医が少ない状況であるため、県内の医療機関での専門医等養成についての検討を実施		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

(新) 高齢精神障害者の地域生活への移行促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[福井県地域医療計画]									
[事業目的]												
高齢の精神障害者を受け入れる施設の整備を支援し、長期に入院している精神障害者の地域への移行を推進する。												
[事業内容]												
○高齢の精神障害をもつ退院患者等が、地域で可能な限り生活を送ることができるよう、支援や訓練を行う介護デイサービスを整備												
①補助対象者：精神病床を有する病院												
②交付条件												
・ 高齢（65歳以上）の精神障害者を対象とする介護デイサービスの整備であること												
・ 長期入院患者の退院促進など地域移行に関する相談機能を持ち、精神科病院、障害福祉サービス事業所や介護サービス事業所、かかりつけ医などの地域の医療機関等との連携を図っていること												
・ 他の国庫補助金の対象外であること												
③補助率 3 / 4												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						26,250	26,250	26,250	平成29年度以降は事業実施希望があった場合に予算計上予定			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	長期入院患者の退院人数 (1か月) (目標) 実績					(31)	(32)	(33)	長期入院患者の退院促進の結果			
活動指標	施設利用者数 (目標) 実績					(15)	(15)	(15)	地域における高齢の長期入院患者の受け皿となり、地域生活を支えるサービスの提供を受けている人数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	繰入	その他	一般財源	事業主体	精神病床を有する法人				
予算額	26,250				26,250		事業実施方法	補助				
							補助率	3/4				

事業評価

事業名	高齢精神障害者の地域生活への移行促進事業	部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課長名	森本雅裕	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>1年以上の長期入院精神障害者が入院中の精神障害者全体の約2/3と多く、さらに地域移行を促進させる必要があるが、長期入院患者の高齢化が進んでおり、地域の受け皿、地域生活を支えるサービスが十分でない状況にある。</p> <p>高齢の長期入院患者の退院をさらに促進させ、地域移行させるには、地域における高齢の精神障害者の地域生活を支えるサービスの確保が必要なことから、障害者福祉サービスでの訓練にはなじまない65歳以上の精神障害者の方を対象とする介護デイサービス施設の整備が必要</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
高齢の精神障害者				約700名（県内の65歳以上の長期入院患者）				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	